

# 「命の大切さ学習教室」

令和4年6月16日（木）

高等部3年職業科・家庭科Ⅰ・Ⅱグループには、車の免許取得を目指す生徒もいます。今回は「交通事故犯罪被害者遺族の講演を通して、交通ルールを守ることの重要性を知る」ことをねらいとして、秋田県警察本部警務部警務課犯罪被害者支援室の協力をいただきながら「命の大切さ学習教室」を行いました。

講演の講師は、平成17年に当時小学1年生の息子を交通事故で亡くされたA君のお母さんでした。当時の辛い経験や、その後の家族の思いや苦しさなど、涙を流し、声を震わせながら話す姿に、生徒全員が真剣に話を聞いていました。生徒も時折、涙を流しており、交通事故によって日常生活が大きく変わること、一人一人の命の重さとはかなさについて考えている様子が見られました。この講演を通して、今後の生活の中で交通ルールを守る意味について学ぶことができた貴重な機会となりました。

## 生徒の感想

お話を聞いた時は、想像するだけで、悲しい気持ちになりました。私も車の免許を取得したら、安全第一で絶対に事故を起こさないようにしたいです。

自分は、自転車の運転をしているので、思いやりの運転を心がけたいと思いました。亡くなったら二度と戻ってこないたった1つの大切な命だから、もっと大切にしなければいけないということを今回改めて学びました。

これからの人生、自分が交通事故に巻き込まれないように交通安全を今以上に意識して生活していきたいと思いました。また、自分の大切な子の命を奪われたら自分は元の生活ができるのかととても考えさせられました。貴重な時間を作っていただき、ありがとうございました。

